

境港市ことぶきクラブ連合会広報紙



健康・友愛・奉仕

ことぶき

第56号

発行日
令和5年3月23日

■編集・発行:境港市ことぶきクラブ連合会

〒684-0043 境港市竹内町40

済生会病院を応援!



シルバー人材センターと
ことぶき連合会合同で清掃活動を行いました

令和4年11月19日(土) 済生会境港総合病院



詳細は2ページに...



令和四年度を振り返って



境港市ことぶきクラブ連合会

会長 川口 昭一

令和四年度境港市ことぶきクラブ連合会の行事は、新型コロナウイルス禍を意識しながら感染に危険な行事を避けて、計画された事業を役員・各委員会の協力で、会員の皆さんが楽しく健康で元気に過ごすことのできる事業を実施することができました。

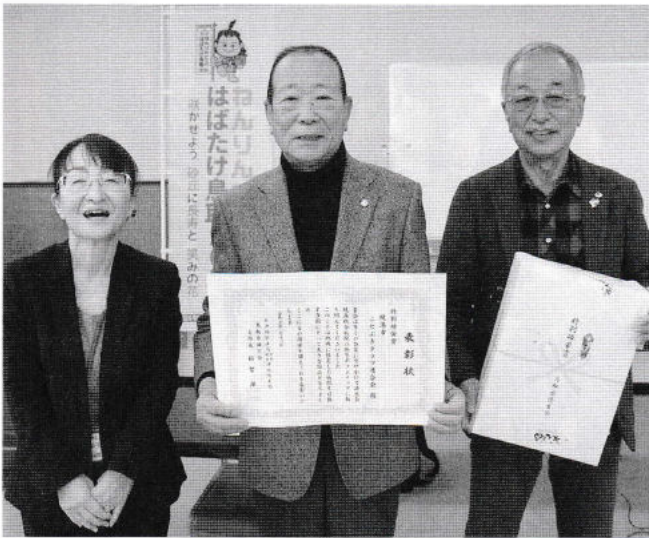
計画外でしたがアナログ世代の方が少しでもスマートフォンを通じて、ＩＴＣ(情報通信技術)を理解して頂ければと「スマホ教室」を境港ドコモショップの協力を得て市寿連独自で四月から八月まで実施しました。参加された人は遠方の子や孫の顔を見ながら話ができると喜んでいました。また、年初めに県老連から借用した「eスポーツ用具」を利用して、「太鼓の達人」の体験会を開催しましたが、音楽を聴きながら目で太鼓を追い、リズムに合わせて太鼓を叩く動作は認知症予防になるし子供たちとの地域交流にも役立ちます。

その他、地域ボランティア活動として一昨年から続けている「サイクリングロード応援隊活動」の外に、今年には鳥取県済生会境港総合病院の庭園除草作業を境港市シルバー人

材センターと合同で実施しました。高齢者がいつもお世話になっていられる地域の中核病院の周囲をきれいにする清掃作業は今後も続けて行い、市民の皆さんと職員の方が気持ち良く利用する場所として守っていききたいと思います。

一月十九日に市寿連理事会において鳥取県済生会支部から令和四年度鳥取県済生会表彰「特別功労賞」を当会に授与されました。会員の皆様にご報告いたします。

今後もコロナを恐れつつ、身を守りながらできる行事を積極的に実行していきたいと考えています。皆様のご協力をお願い申し上げます。



左から、鳥取県済生会支部佐々木事務局長、川口会長、足立副会長

潮風

「とにかく寒い」

厳しい寒波がやってきた。昨年十月頃だっただろうが、テレビで今年の冬は寒くなると言っていた。気象予報士によると、今年は赤道付近でラニーニャ現象が発生しており、その年の冬は必ずと言っているほど日本に寒波が襲来するとの事。その通りになった。

積雪は多くないが、とにかく寒い。その上寒い期間が長い。外に出て何かしようと言う意欲がわかない。家でじっとしていると救急車のサイレン音が度々聞こえてくる。

救急車の出動で多いのは、八割は高齢者で転倒が一番多いと聞く。転倒の原因で寝たきりになる人も多い。この中には、ヒートショック等による脳梗塞や心筋梗塞も含まれる。



救急車のお世話にならないようお互いに転倒には気をつけ、この寒い冬を乗り切りたい。

(広報委員 高松 武美)

令和四年度受賞者

庄司 正子さん 全国老人クラブ会長表彰（育成功労表彰）



庄司さんの受賞にあたって

境港市ことぶきクラブ連合会事務局

渡邊 礼子

可憐な花々の馥郁たる薫りが春を告げるこの頃、各表彰をお受けになられた皆様方、誠におめでとうございます。多年にわたり本会の活動推進と育成発展に献身的にご尽力賜りましたことに深く感謝申し上げます。

さて、この度令和四年度全国老人クラブ連合会長表彰を受賞された庄司正子市寿連副会長におかれましては、平成二十五年には女性委員長、平成三十一年には本会副会長、令和元年には県女性委員会委員長にご就任頂きました。温かな母なる心でこれからの未来を築く手助けをしまいたい」と人と人と

のこころに友愛の絆を育んでこられました。

後継の人材を育てるには、目先の結果を求めめるのではなく、いつか困難に直面した時自分の力で立ち向かうことができる「希望の種子」を心に蒔くのだと、精一杯の真心で寄り添い励まし続けるそんなお姿を幾度となく目にしてまいりました。

吉野弘氏の詩「生命は」にはこう綴られています。「生命は／自分自身だけでは完結できないように／つくられていくらしい」（『贈るうた』所収、花神社）。この詩を目にしたとき、涙が溢れました。

花にはめしべとおしべだけでは受粉できない風や虫が仲立ちをするものが多くあります。人生もまた同じように受粉を助ける存在があつてこそ、生命の中に幸せの花を咲かせることが出来ます。

庄司副会長は友の心が沈んでいると耳にすれば、すぐに駆けつけ温かな励ましをおくってこられました。誰もこのこころにその真心が痛いほど伝わったことでしょうか。何があつても友を信じ抜き、寄り添い励ますその心からの声が、人材の花を咲かせ行く希望の春風となることを教えていただきました。

鳥取県老人クラブ会長表彰

【個人表彰】

- 上灘 二郎（総務委員長）
- 屋敷 善博（旅行委員長）

【団体表彰】

- 竹内ことぶきクラブ

境港市ことぶきクラブ連合会
会長表彰

【個人表彰】

- 阿部 澄子（高松町老壮クラブ）
- 足村 武男（財ノ木ことぶきクラブ）
- 景山 五郎（中野町老壮クラブ）
- 川田 卓成（福定町老人クラブ福寿会）
- 住田 弘子（外江第二明生会）
- 高木 敏行（財ノ木ことぶきクラブ）

【団体表彰】

- 三軒屋あじさいクラブ
- 西馬場崎町ことぶきいきいきクラブ
- 湊町クラブ

第三回 幸せつなぐ川柳大会 市長賞に佐々木さん



幸せつなぐ川柳大会の表彰式

境港市ことぶきクラブ連合会の特色ある継続事業にしようと、令和二年度より広報委員会の主催でスタートした「幸せつなぐ川柳大会」は今年度で第三回目を迎えました。

今年度は境港市が熱中症予防を重点的に取り組んでいることから、課題を「熱中症」・「熱中症対策」として公募したところ一〇五点の応募がありました。

審査員にはこれまで通り、境港市長及び市議会議長にもお願いしました。市長賞・議長賞及び会長賞の審査は九月八日市長室で

市長・議長にもご参加頂き、ことぶき連合会からは川口会長・安田正志広報委員長、発案者の遠藤量委員が加わり三賞を決定しました。

三賞及び入選作品の表彰式は、十月七日、ことぶき文化祭の席上で行われました。

境港市長賞

急にくる 妻の怒りと 熱中症

中野町 佐々木美知枝

境港市議会議長賞

エアコンで テレビドラマに 熱中症

外江町 奥谷 澄子

境港市ことぶきクラブ連合会会長賞

熱中症 予防の水筒 また忘れ

竹内町 渡邊真紀夫

入選作品 十点

喉渇く 前にチビチビ 麦茶飲む

新屋町 阿部 春代

冷えたビール 熱中症予防と 何杯目

上道町 広島 春子

声かけて 絆で守る 熱中症

蓮池町 門永 清美

三食昼寝 涼しい部屋で この平和

上道町 門永 慈子

真夏日は 草取り夢中で 命取り

竹内町 榎野 紀美

汗かいて 仕事自慢は それやばい

上道町 田中 峰夫

同じだね 今日の気温と 体温が

上道町 遠藤 博江

暑い日は もう少しでも ひと休み

渡町 渡邊 泰人

節電も エアコンだけは 妥協せず

誠道町 由浪 容子

チョコチョコと 小鳥の如く 水を呑む

元町 篠原 道江



市長室で行われた真剣な審査の様子

令和四年度

活動のあしあと

総務委員会

総務委員長 上灘 二郎

弓ヶ浜サイクリングロード 清掃活動

十一月十五日(火)、弓ヶ浜サイクリングロードにおいて、今年二回目の清掃活動を五十七名の参加者でロード始点〜境港市南端までの約3kmを三班に分かれて行いました。



このサイクリングロードでは他の団体も清掃活動を行っていることもあって、当日は目立ったゴミも少なく回収量は多くありませんでしたが、晴天にも恵まれウォーキングを兼ねて気持ちの良い清掃活動となりました。



総務・広報・若手委員会 合同研修会活動

十一月二十八日(月)、総務・広報・若手委員会合同の研修会として、淀江の向山古墳見学と淀江老人クラブ連合会との交流会を行いました。

淀江平野には沢山の古墳がありますが、今回はそのうち向山古墳群と上淀廃寺跡を訪れ、古代この地域に栄えた文化に接し感動を覚えました。

また、古墳見学のあと淀江公民館において淀江老人クラブとの意見交換会を行いました。



文化委員会

文化委員長 渡部 靖郎

第56回ことぶき文化祭

十月七日(金)、境港市文化ホールにおいて「第五十六回ことぶき文化祭」が開催され、三三五名の参加者で大いに賑わいました。

文化祭の冒頭「第三回幸せつなぐ川柳大会」の表彰式が行われ、市長賞、市議会議長賞、市寿連会長賞が授与されました。

今年の文化祭は十三組の舞踊、寸劇が披露され、会場は大いに盛り上がり、フィナーレは石田光輝さんの歌で締めくくられました。



第30回ことぶき作品展

十一月二十六・二十七日(土・日)、浜の里において「第三十回ことぶき作品展」が開催されました。

今回の作品展には、六十五名の方から一八〇点もの作品が出展され、二日間で一五四名の方に鑑賞していただきました。

また、アンケートに二十五件の意見が寄せられました。これらの意見を参考に次回以降より一層充実を図ってきたいと思います。



健康委員会

健康委員長 竹内 健治

第20回ニユースポーツ大会

九月九日(金)、境港市民体育館において一四〇余名の参加でニユースポーツの熱戦が繰り広げられました。

今大会はコロナ感染症に配慮し競技種目を四競技に減らし、日程も半日で行われました。



- 【二位】 竹内ことぶきチーム
- 【二位】 境混合チーム
- 【三位】 高松・誠道チーム

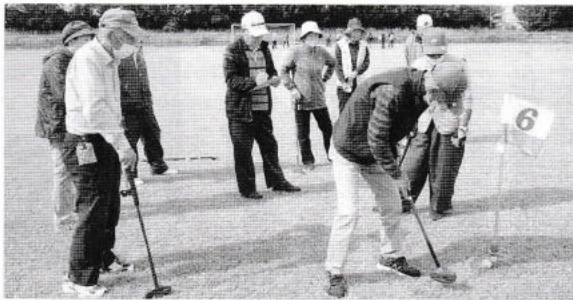
第38回交通安全

グラウンドゴルフ大会

十月十二日(水)、境港市民スポーツ広場において「第三十八回交通安全グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

大会は当初五月に予定されていましたが、コロナ感染症の拡大に配慮し、十月に延期していたものです。

参加された一五六名の皆さんの元気はつらつとしたプレーで、大会は大いに盛り上がりました。



- 右から【二位】足羽 令吉さん(竹内)
- 【一位】山中 幸男さん(竹内)
 - 【三位】石井 国繁さん(誠道)

若手委員会

若手委員長 湯浅 明美

第11回健康ウォーキング大会

十一月五日(土)、竜ヶ山公園において「第十一回健康ウォーキング大会」を行いました。当日はあいにくの降雨となり、計画どおり実施することが出来ませんでした。小雨となった時分を見計らって全員で竜ヶ山公園を一周した後、ビンゴゲームで楽しく大会を終えました。



女性委員会

女性委員長 庄司 正子

第10回ことぶき研修会

七月六日(水)、境港市文化ホールにおいて二三名の参加で「第十回ことぶき研修会」が開かれました。講師に境港観光協会会長 結城豊広氏をお迎えし、「日本と山陰 このあと日本はどこへ」コロナ後の処方箋」と題してご講演いただきました。



また、大塚製薬(株)米子出張所 金山牧子様から「熱中症予防講座」を行っていただきました。
ファイナーレは石田光輝さんの歌に合わせて鬼太郎音頭を踊って盛会のうちに研修会を終えました。

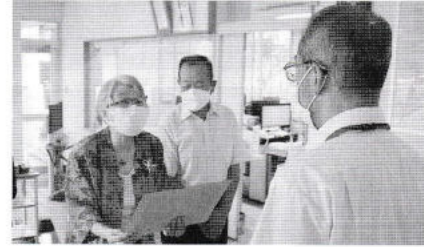


《施設訪問》

九月七日(水)、さかい幸朋苑に施設訪問をおこないました。

各クラブから集められたタオル、バスタオル、手作り雑巾等を濱田 壮 総合施設長に贈りました。

濱田様からは「とても有難く、大切に使用させていただきます」とお礼の言葉をいただきました。



傾聴委員会 傾聴講演会

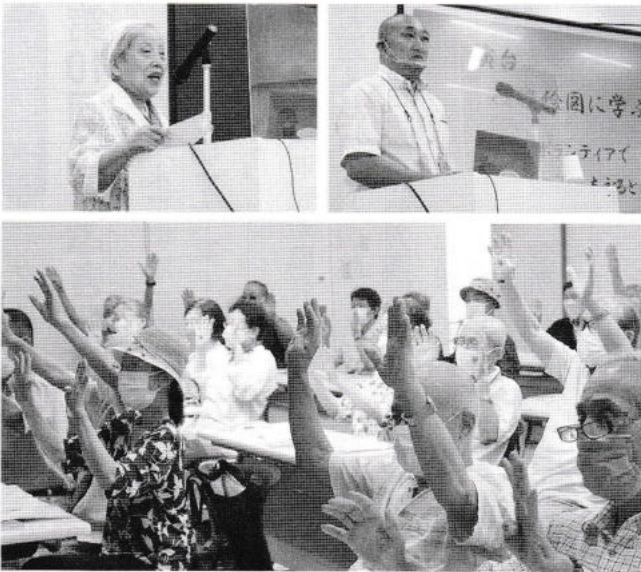
傾聴委員長 中村登美子

八月二十日(土)、みなとテラスにおいて二二〇名の参加で開催されました。

講師には米子市 長徳寺住職 小林憲充氏をお招きして「極楽絵図に学ぶ傾聴ボランティアで人の道を支えるとは」と題して講演をいただきました。

また、傾聴委員の渋谷博子さんからは傾聴ボランティアの体験発表がありました。

今後、傾聴活動を通して「励ましの輪」「支え合いの輪」をなお一層広げていきたいと感じました。



《施設訪問》

今までは色々な施設を訪問し、お話し相手の活動をしていましたが、コロナによる施設への面会禁止により休止状態です。

そこで何かでメンバーの心を伝えたいと、四月十四日(木)に手作り作品だけでもさかい幸朋苑へ届けることにしました。童謡歌詞を記した絵はがき、塗り絵はがきにメッセージ、折り紙「だるまの絵馬」を古布のプレートに入れて、新聞紙の再利用バックも添えました。手作り作品が傾聴委員会メンバーの心を届けてくれるといいですね。



地区クラブの活動

余子駅周辺除草新記録達成か？

竹内ことぶきクラブ会長

渡邊 真紀夫

九月十六日(金)、余子駅及び周辺の除草・清掃のボランティア活動を行いました。

午前八時開始、およそ一時間の作業に会員約三十人が汗をかけたその結果、除去した雑草が四〇リットルゴミ袋で六十六袋にも達しました。

今回は雑草の伸び方がとんでもない、こんなにはびこるものかと目を疑うほどの状態でした。結果はやはり驚くべきもので多分これは新記録かと思われれます。



あまりのことに一部は処分しきれないほどでしたが、それでもこの結果ということはこの夏の異常さを表しているのでしょうか。そういえば我が家の庭の雑草も、今年は元気が良すぎて困りものでした。

今後、これが通常となればいったいどうなることやら。

「穴道湖グリーンパークの研修」を終えて

小篠津ことぶきクラブ会長

角 甫

現地に着くやいなや、湖遊館スケート場近くの「ホシザキ野生生物研究室」に入りました。全員に渡された双眼鏡でバードウォッチ



チングに夢中になり、子供の頃に戻ったかのようでした。ペンギンミュージアムもあり、グッズ二千点以上の展示が圧巻でした。園内の林は、樹名板があり親切です。バードウォッチングや樹木のガイドと寄り添った職員さんのおかげで、楽しい思い出となりました。

老いても なお多忙

シリーズ
-2-

麦垣町 黒柳 園子さん

第二回目に登場いただくのは、中浜地区麦垣町の黒柳園子さんです。今年の三月で満九十歳。お年を感じさせぬ行動力。いつも何かに手掛け、役割がある中で四季折々の季節感を茶の湯と共に親しみ、癒され元気の源になっています。



習字のお稽古の様子

三十歳の時、ご主人の転勤で境港市に生まれ新居を構えてからは洋裁教室を開き生徒さんが何人もいたそうです。そのうち若いお弟子さんたちの要望で花嫁修業だったお花やお茶を教えるようになったそうです。

公民館では五十年にわたり生け花教室を指導され、毎年の公民館まつりでは色とりどりの花が生徒さんの作品と共に展示され来場者の心を和ませてくれています。

お茶では表千家同門会に所属し、ご自宅の茶室でのお稽古をはじめ境高校では茶道部の指導を十五年間務められました。生徒に茶の湯を通しておもてなしの心や周囲への気遣いや心配りができるように指導されました。

小学生には公民館の夏休み子ども講座でお茶教室を開き幼い時から茶の湯に親しむ習慣も切り開きました。その結果今年度の令和四年度から中浜小学校のお茶クラブを立ち上げ男児を含めた十八名が毎月公民館やご自宅の茶室でお稽古をするようになりました。

茶の湯を後世に広めた千利休さん生誕五百年の記念の年であり、卒寿のめでたい年に小学校とご縁があり感慨深い一年になったようです。

実は私も黒柳さんに茶道のお稽古をしていただいています。少しずつですが、先生の片腕に



中浜小学校の「お茶クラブ」

なって動けるようにご指導をいただいているところです。

日課についてうかがってみますと午前中はグラウンドゴルフで運動し仲間とおしゃべりして交流する事が楽しみになっています。帰宅後はお庭の草取りや手入れをし、昼食を摂られるそうです。食事にも気を付けていて肉や魚、野菜など栄養バランスのとれた食事を心掛けています。

小学生が下校する時間になったら、当番の日には子ども見守り隊として地域活動にも参加し役割を担っています。

曜日によりそれぞれのお稽古をし、小学生や高校生にお習字も教えています。

九十歳にして現役のお茶、お花、お習字の先生であります。今後も色々な世代の方々との交流でつながりを持ち続け、益々お元気で活躍される事をお祈りしています。

おうちでは五人の孫育てにも関わり、保育園の送迎も十六年間されたそうです。

身体を動かし、バランスの良い食事や社会参加。できる事には協力し役割を果たす。何だかどこかで聞き覚えのあるフレーズですね。フレイル予防が長寿の秘訣になっている事に気づいていただけたら幸いです。

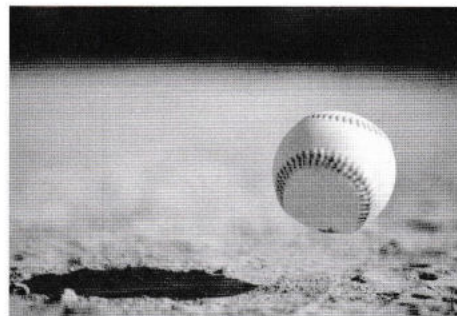
(中浜地区夕日ヶ丘三丁目すこやか会 志賀 智子)

温故知新

5.

昨年のサッカーWBCカタール大会では日本チームが強豪のドイツ・スペインを破り、日本中が沸き返った。

私たちの子どもの頃はサッカーとは無縁で、皆が熱中して応援したのは高校野球であった。その場所が台球場で、右翼の場外には海上保安部の白い建



務めた早坂茂三氏は自分がホスト役を務めるトーク番組で、プロ野球界からは長嶋茂雄・野村克也・仰木彬・大沢啓二を迎えたが、最もインパクトを与えたのは野村克也であったと記している。

彼は京都府の日本海に面する網野町で母子家庭の貧しい家庭で育ち、小学四年から中学三年まで新聞配達を続けたという。兄は網野高校一の秀才であったが(大学進学は諦め)島津製作所に入社して野村の高校進学を助けたという。

彼は子供の時から野球少年で、網野高校では一年の時から三番キャッチャーで大活躍したが、野球では無名の高校であったが、プロ入りは南海ホークスのテスト生という身分で薄給の入団であったという。そういう状況でも、母親に給料六千円の中から千円を仕送り、その後も給料に応じて仕送りを続けたという。「そもそも野球をやったのは、早くおふくろを楽にしてやりたい」との思いであったという。片や、母親もその仕送りには一切手をつけずタンズにしまい続けていたという。「この母親にしてこの子あり」ということか。

南海三年目からは、彼の才能や努力が開花し大活躍を続け、捕手・四番を務めながらホームラン王九回、打点王七回に加え三冠王に輝くなど、輝かしい成績を残した。しかし頻りにテレビ中継のある巨人の王・長嶋に人気の面で圧倒され、王・長嶋はひまわりで、自分は月見草で彼らは私とは別次元の人達だと語っていた。しかし、派手な沙知代さんと知り合った後、先妻の奥さんを離別し、彼女と再婚している。ひまわりへの憧れを免れられなかったのだから。人間は複雑である。

現役引退後はあるべき指導者像を求めて沢山の書物も読み漁り、その役割について「金を残すは下、

仕事を残すは中、人を残すが上」との先人のことばに深く共鳴していたという。そのように学んだ知識と彼の実践で得た思想を結びつけ、自分でも多くの書籍を著わした。

六十五歳でヤクルトの監督に迎えられた折、春季キャンプ中の選手への夜間講座で蓄えられた知識や理論が一気に選手たちに吐き出された。講話の中には人間とか社会人の在り方についても大切にされていたという。そのせいか、彼の監督在任中の選手を時には、教え子と呼ぶこともあった。野村氏の訓育を受けた者(阪神や楽天時代も含め)がプロ野球十二球団の一・二軍の監督・コーチの半数以上を占めている状況だという。まさに上の功績である「人」を残したという事になる。

しかし、野球少年の中からプロ野球に入団できるのはほんの一握りである。その中でも大きな実績を残す者、指導者として残れる者は更に一握りである。多くの者が途中で自分の限界を悟り自ら去っていったり、球団から解雇を言い渡される者も多い。華やかな世界から世間の片隅でこっそりと生きていく厳しい生活が待ち受けている。そのような境遇の教え子たちが元監督・元恩師の野村氏に年賀状とか暑中見舞を出せば、野村氏の返書の片隅に「見る人は見ている」との文言が達筆で記されていたという。社会人や高校野球の指導者になった者に対してはスタンドから活躍を見守る氏の姿が自撃されたという。自分の存在を認めてもらいたい、自分の頑張っている姿を見守ってもらいたいとは人間誰しも切なる願いである。彼の各分野で残した数多の業績の中でも、私自身が最も心惹かれる部分である。最後は当てにしていた沙知代夫人の看取りは叶わなかったが、浴室で安らかに眠るように旅立ったとのこと。野村克也氏は人生の達人であったと思えてならない。

(広報委員 安田 正志)

見る人は見ている

物が、左翼の場外には酒蔵の黒い瓦が見えていた。当時の境高のバッターは、黒い屋根に軽々と場外ホームランを打ち込みダイナマイト打線と呼ばれていた。当時は、台球場が西部地区では最も本格的な球場という事で中国大会までも行われていた。私も大会に練習試合にと頻りに駆けつけていた。振り返ってみると小学校低学年の頃である。自転車に乗って中浜の自宅から台球場まで通ったという事になる。運動神経はさっぱりであったが、高校野球応援少年であった事は間違いないだろう。

昨年、野球界のレジエントともいべき野村克也氏が八十四歳で亡くなった。

かつて総理でもあった田中角栄氏の首席秘書を

文芸欄



俳句

外江海峡句会

百円に数多の願い初詣

板倉 弘明(外江町)

久々に部屋開け放つ小春日和

遠藤 量(外江町)

初場所や四股名通りに翔んで勝ち

足立 春美(外江町)

鐘の音の余韻流るる去年今年

渡部 瑞子(日ノ出町)

除夜の鐘遠くで聞こゆ夢に入る

篠原 道江(元町)

余子俳句同好会

湯上がりの春満月を独り占め

大隈 静(竹内町)

毒少し話大きく万愚節

大谷 和三(竹内町)

料峭や日日ぐすりと云ふ葉

坂井 貴子(竹内町)

牡丹苗一本残り咲き誇る

池淵 靖夫(中野町)

潮騒俳句会

聴き返し確かむ正月入選句

遠藤 量(外江町)

山なみの一つが遠し花の雲

崎 多瑠子(上道町)

夜桜や幹は黒子のごと立てり

出木 俊子(馬場崎町)

壁にまだ馴染まぬ暦二月尽

坂井 貴子(竹内町)

どこことなく雲の流れの春らしく

渡部 瑞子(日ノ出町)

二度寝して亀の鳴けるを聞き逃す

大谷 和三(竹内町)

川柳

境港さつき川柳会

穏やかに明け新春の大漁旗

門永 慈子(上道町)

晴れ姿日本を担う若者だ

徳尾 勝(上道町)

余慶あり家族新年祝賀会

永見 泰二(新屋町)

トラ去ってウサギ飛んで出ておめでとう

中井 虎尾(上道町)

「元朝」に六時卯の雲大山に

渋谷 博子(上道町)

正座して加山雄三見納める

由浪 容子(誠道町)

神だのみ願いは一つ金運で

門永 清美(蓮池町)

五十年切った臍の緒持ち続け

南家 朝子(渡町)

毎日の平安無事ありがたい

篠原 道江(元町)

おせつかいはやくちやもにやことせんことだ

田口 清子(松ヶ枝町)

またひとつ命宿りて生きがいに

雲内 恭子(渡町)

初春と娘帰郷と吉二つ

伊野美津子(馬場崎町)

ブームですメダカ一匹五万円

遠藤 量(外江町)

- *潮騒俳句会.....
毎月第2火曜日午後1時から 2時間程度
なぎさ会館(上道町)
【連絡先】大谷和三 電話45-6182
- *余子俳句同好会.....
毎月第3金曜日 午後1時半から
余子公民館
【連絡先】大谷和三 電話45-6182
- *外江海峡句会.....
毎月1回 紙上例会
【連絡先】遠藤 量 電話42-3217
外江公民館 電話42-3204
- *境港さつき川柳会.....
毎月1回日時は随時
境公民館
【連絡先】徳尾 勝 電話090-8360-7672

編集後記

「ことぶき」紙面の写真をカラーに、とりあえずは表紙だけでもというのは広報委員全員の願望でもあり、外部からも声がよせられてきました。

県老連広報紙の責任者でもある川口会長より、既に紙面のカラー化に進んでいる県老連の体験も踏まえた指導助言とカワバタ印刷さんの努力により、かねてよりの願望であった表紙のカラー版を実現することが出来ました。今後は紙面の充実に一層努めたいと思っています。(広報委員会)



ホームページは
コチラから